

めあて

日本の伝統文化でもある華道を体験することにより、興味・関心を深め伝統文化に親しもうとする心情を育てる。

対象：クラス単位・学年単位

対象

小4

小5

小6

中1

中2

華道



授業の流れ（基本プラン）
1～2時限（通常の授業時間）

あいさつ（講師紹介）

講 話

実 演

体 験

質 問

発 表

- ◆実施時期◆ 6月～10月が望ましい
- ◆講 話◆ 華道の歴史と活け方について
《歴史的背景などについて話をし、身近なものであることに気づいてもらう》
- ◆実 演◆ 季節の花を使って活けてみる
《実際に見ることで魅力を感じさせる》
- ◆体 験◆ 講師が実際に活けながら、花材の水揚げ方法、活け方を学びながら、生徒も一緒に活けてみる
花器は家にあるものを使うか、身近にある陶器、カゴ、ペットボトル等を使う
剣山けんざんはオアシス（生花用給水スポンジ）で対応、はさみは工作用のはさみを使用
- ◆質 問◆ 体験したことでの疑問、知りたいこと等を質問してみましょう
- ◆発 表◆ 出来上がった花を飾ってみましょう



講 話

華道とは・・・

季節の枝や花を主に使用し、その他さまざまな材料を組み合わせ「構成」そして「鑑賞」という芸術です。さまざまな流派があり、様式・技法は各流派によって多少異なりますが、基本は一緒です。

華道は日本発祥の芸術ですが、現代においては国際的に広がっています。色鮮やかな花だけでなく、枝振りや木の幹の形状、葉や苔などすべてを花材とし鑑賞する点でも海外のアレンジの概念とは一線を画していると言えるでしょう。



体 験



完 成 ★

☆実施校からの声☆

- ・初めて華道に触れる児童がほとんどで、興味をもって取り組んでいました。
- ・お花を大切にしようとする姿勢がみられた。
- ・最後に、生徒一人ずつ丁寧に作品をみてくださり、仕上げていただいたことで「達成感」を感じられたようです。